

せん妄患者をどのように支援することができますか？

家族や友人など、慣れ親しんだ人との会話は、せん妄患者に安心感をもたらします。できるだけ頻繁に訪れて、介護に協力するよう努めましょう。

家族全員および友人にも支援を頼みましょう。

- せん妄患者には、明瞭にゆっくりと話してあげてください。会話の際は自分の名前をしっかりと告げ、患者にも名前呼びかけするようにします。
- 患者が適切な食事、流動食または飲み物を摂取するよう促し、必要であれば介助してあげましょう。
- 場所や時間を把握することは、錯乱状態の軽減に役立ちます。今どこにいて、今日は何日で、現在は何時であるか教えてあげましょう。状況が許すなら、部屋のカーテンを開けておきましょう。
- 視覚または聴覚に障害がある場合は、錯乱状態がより重くなる場合があります。せん妄患者がふだん眼鏡をかけていたり補聴器を装着している場合は、それらの補助器具を忘れず用いるよう促し、必要であれば装着／装用を手伝ってあげましょう。
- せん妄患者が興奮したり攻撃的になった場合は、無理に抑制しようと試みないでください。例えば患者が歩きたいと言い張るようなら、周囲に危険な障害物がないことを確認のうえで歩かせてあげましょう。ただし、転倒や衝突には十分注意してください。
- 写真や部屋着、ラジオ、CD／カセットプレイヤー、好きな音楽の入ったCDまたはカセットテープなど、家を思い出せるような品を持ってきてあげましょう。
- 患者の錯乱や興奮の軽減に少しでも役立つ情報があれば、治療・介護を担当する医療スタッフにお知らせください。例えば、家族や友人の名前、趣味、本人にとって重要な出来事などが挙げられます。

せん妄に関して何らかの懸念またはご質問をお持ちの方は、かかりつけの医師または病院のスタッフにご相談ください。

連絡先

Carers Resource Centres

介護者資料センター

Tel: 1800 242 636

Aged Care Information Line

高齢者介護情報ライン

Tel: 1800 500 853

National Dementia Helpline

全国認知症ヘルプライン

Tel: 1800 100 500

Carers Australia

ケアラーズ・オーストラリア

www.carersaustralia.com.au

Alzheimer's Australia

アルツハイマーズ・オーストラリア

www.alzheimers.org.au



出典 (許諾済): Northern NSW Local Health Districtおよび Delirium Care Pathways, Department of Health and Aging, Canberra. 2010

本パンフレットは、Department of Veterans Affairsより資金援助を受けた、Agency for Clinical Innovation、Clinical Excellence CommissionおよびGP NSWの共同研究 Care of the Confused Hospitalised Older Persons Study (CHOPS) の一部として作成されています。

せん妄 Delirium

精神機能の変化を特徴とするせん妄は一般的な疾患であり、高齢者に多く見られます。

せん妄の患者は混乱して非常に興奮する場合もあれば、逆に黙りこんでしまったり、急に強い眠気に襲われる場合があります。

せん妄は常に突然発病します。通常は数日間で治まりますが、より長い期間持続する場合があります。

せん妄は、大変重い症状を伴う場合があります。

本小冊子は、せん妄の経験者およびそのご家族／介護者の方々を対象としたご案内です。

■ どのような人にせん妄のリスクがあるのでしょうか？

次のような人にはせん妄のリスクがあります：

- 重い病気にかかっている人
- 認知症の人
- 70歳以上の人
- うつ病にかかっている人
- 視力の弱い人
- 複数の薬を服用している人
- 心臓や股関節などに外科手術を受けている人

■ せん妄患者にはどういった症状がありますか？

せん妄状態の人には、次のような症状が現れる場合があります：

- 混乱したり、健忘症にかかったように見える
- 注意力がなくなる
- 人が変わったようになる
- 極端に興奮するか、逆に無口で内気になる、あるいは急に強い眠気に襲われる
- 自分がどこにいるのか、または今何時なのかが分からなくなる
- 夜は眠れず日中に眠くなるなど、睡眠習慣に変化が生じる
- 怯える、動揺する、イライラする、怒る、悲しくなるなど、感情の起伏が激しくなる
- 実際には存在しないものが、明らかに見えると思込む場合がある
- 膀胱や腸の制御が困難になる

■ せん妄の発症率はどのくらいですか？

高齢の入院患者の約5分の1、および高齢者介護施設に入居している人々の半数近くは、治療／介護中のある段階でせん妄を経験します。

■ せん妄の原因は何ですか？

高齢者のせん妄の一般的な原因には、次のものがあります：

- 感染症（尿路感染症など）
- 複数の身体的疾患
- 便秘
- 脱水症／栄養失調症
- 激しい痛み
- 薬の服用（市販薬を含む）
- 過度の飲酒
- 急な禁酒、または薬（特に睡眠薬）の服用の中止。

■ せん妄はどのように発症するのでしょうか？

せん妄は突然発症し、通常は数時間から数日間続きます。患者の言動は、一日の間にも不安定に変化することがあります。

せん妄は、認知症またはうつ病と間違えて認識される場合があります。このため、患者の精神状態に突然の変化があった場合、家族や友人が医師／看護師に知らせることが重要です。

■ せん妄はどのくらいの期間、持続するのでしょうか？

多くの場合、せん妄の症状は数日で治まりますが、場合によっては数週間または数ヶ月続くこともあります。症状が迅速に改善されなければ、転倒や床ずれ、長期の入院、また最悪の場合は生命に関わる深刻な事態を招く恐れもあります。

■ せん妄が再発することはありますか？

せん妄を経験したことがある人には、高い再発のリスクがあります。

■ せん妄の治療はどのように行われますか？

一般にせん妄は、他の根本的な身体的疾患と密接に関連しています。ただし、必ずしも原因の特定が可能とは限りません。せん妄の根本的な原因究明および治療のため、医療スタッフは徹底的な医学的評価を行います。

こうした治療には、合併症リスクの低減および症状の緩和も含まれます。

家族と介護者の役割

- せん妄患者の家族および介護者は、医療スタッフに対して貴重な情報を提供することができます。
- 患者の精神状態または体調に突然変化が生じた場合、家族および介護者は早急に医療スタッフまで知らせることが重要です。